

# 今、学校園がおもしろい！

発行：泉佐野市教育委員会 教育部【2020年10月22日】

## 「アフリカ子どもサミット2020」に参加しました



8月10日(月)、「アフリカ子どもサミット2020」が大阪府立国際会議場(グランキューブ大阪)で開催され、本市から中央小学校の6年生2名と校長先生が参加しました。アフリカ子どもサミットは、昨年G20が大阪で開催された日に生まれた会議で、今年で2回目となります。

会議の前半「学ぶ」パートでは、参加者の自己紹介の後、アフリカの様々な国や文化についてのクイズが出題され、解答後の映像や説明により、アフリカについて詳しく学ぶことができました。

また、会場のサミット出席者の他にも、府内に中継地点が設けられており、泉佐野市役所からは、中央小学校6年生3名と、国際交流員のエマニュエルオチョラさんが協力しながらクイズに楽しく参加していました。

会議の後半「つながる」パートでは、コンゴ民主共和国やガーナ共和国、ウガンダ共和国などのアフリカ各国とオンラインでテレビ中継をし、現地の子どもたちと話をしました。「休みの日に、どこに出かけますか。」「魚はどのようにして食べますか。」「学校の休み時間は何をしていますか。」「学校では、どんな動物を飼っていますか。」等の質問が交わされ、お互いの文化について知ることができました。

会議の最後は、テーマソング「TEWOARAOU～手をあらおう～」に合わせて、参加者全員でダンスをし、手洗いの大切さをみんなで再確認しました。

今回は、昨年のように一堂に会しての会議ができませんでしたが、オンラインで様々な人たちとつながることができ、サミットのテーマ『ぼくたちがつながればアフリカと日本の未来が変わる！』のとおり、これからの未来について考える、大変よい機会となりました。



# 関空アイスアリーナ アイススケート体験学習を実施しました！



2学期が始まって間もない8月25日(火)、上之郷小学校の5年生を対象に、市内小学校では初めてとなる関空アイスアリーナでのアイススケート体験学習を実施しました。

子どもたちは施設に到着後、アリーナに入場しました。メインリンクを見た子どもたちは今すぐにでもスケート靴を履いてリンクに入りたい様子でしたが、まずは、安全にスケートを実施するため、それぞれヘルメットや肘あて等を着用し、全体で準備体操を入念に行いました。

その後、グループに分かれて、インストラクターの指導の下、体験学習が始まりました。アイススケートをするのが初めての子どもたちも多く、手すりを持ちながら前に進むだけでもなかなか難しいようでした。しかし、「自分で滑れるようになりたい」という子どもたちの気持ちが強く、熱心にインストラクターの説明を聞き、実演を見ながら何回も個人で練習を重ねると、約80分という短時間の中であるにも関わらず、少しずつできるようになり、最後は一人で滑ることができるようになっていました。

体験学習の最後には、インストラクターによるジャンプやスピンの演技を見せていただき、子どもたちからも「おお」という声が上がっていました。

帰りのバスに乗り込む子どもたちはみんな笑顔で、満足感でいっぱいというような表情でした。きっと普段の学校生活とはまた違う充実した時間を過ごすことができたのだらうと思います。

今年度は学校現場もコロナ禍にある中で、行事が例年どおり実施できない状況もありますが、例年とは違う夏のアイススケート体験学習は、子どもたちにとって良い思い出になったのではないのでしょうか。

